

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	地域・在宅看護概論	1	15	1年次 ・ 1学期
担当講師	専任教員・非常勤講師 (病院での退院支援の経験あり)			
授業概要	地域包括ケアシステムが推進され、療養の場は多様化している。地域・在宅看護の発展の歴史から地域・在宅における看護の役割を学び、個人の環境としての地域・在宅で生活する対象のQOLに視点を置きながら健康を支えるシステムを学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護の概要を理解する。 2. 地域・在宅看護における看護の役割を理解する。 3. 生活者としての対象を支えるシステムを理解する。 			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～2回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護の歴史と概要 2. 人々の暮らしの理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 暮らしとは 2) 暮らしと健康の関係 3) 暮らしの中で健康をとらえる 	第1回 ～4回		
第3回	<ol style="list-style-type: none"> 3. 地域・在宅看護の役割 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域・在宅看護の基盤となる考え方 2) 地域・在宅看護に求められる役割 			
第4回	<ol style="list-style-type: none"> 4. 暮らしの基盤としての地域の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 暮らしと地域 2) 暮らしと地域を理解するための考え方 			
第5回 ～7回	<ol style="list-style-type: none"> 5. 地域包括ケアシステムと地域共生社会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケアシステムの構成要素 2) 地域包括ケアシステムと自助・互助・共助・公助 6. 地域・在宅看護に関わる制度とその活用 <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護保険・医療保険制度 2) 地域・在宅看護にかかわる医療提供体制 3) 訪問看護の制度 4) 地域保健に関わる制度 5) 高齢者に関する法制度 6) 障害者・難病に関する法制度 7) 権利保障に関連する法制度 			
第8回	認定試験 (1時間)			
自己学習 関連科目	看護学概論Ⅰ・医療概論の内容を復習して臨む			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 1	地域在宅看護の基盤	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 2	地域在宅看護の実践	医学書院	
評価方法	筆記試験：100% (第1～4回：60%、第5～7回：40%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期			
専門	地域・在宅看護対象論	1	15	1 学年 ・ 2 学期			
担当講師	専任教員 (保健師、健康福祉センター勤務経験あり)						
授業概要	地域・在宅看護の対象の地域・ライフステージ・健康レベルの多様性を理解する。 地域における暮らしを支える看護を理解する						
授業目標	1. 地域の多様な特性が、そこで暮らす人々の健康に影響していることを理解する。 2. 地域・在宅看護の対象である家族について、基本的な理解ができる 3. 地域における暮らしを支える上で、環境を整える看護が大切であることを理解する						
回数	授業内容	担当者					
第 1 回	1. 地域・在宅看護の対象者 1) 地域による多様性 2) ライフサイクルによる多様性 3) 健康レベルの多様性						
第 2 回	2. 家族の理解 1) 家族の発達と課題 2) 家族システム 3) 家族と意思決定支援						
第 3・4 回	3. 地域における暮らしを支える看護 1) 暮らしの環境を整える看護 2) 広がる看護の対象と提供方法 3) 地域における家族への看護 4) 地域におけるライフステージに応じた看護 5) 地域での暮らしにおけるリスクの理解						
第 5 回	4. 地域における暮らしを支える制度とその活用 金沢福祉用具プラザの見学						
第 6・7 回	5. ICF を活用した暮らしの環境を整える看護 6. 退院支援に必要な情報						
8 回	7. 認定試験						
自己学習 関連科目	社会学の家族と社会の内容を復習して臨む 関連科目：看護学概論Ⅰ・社会学・地域・在宅看護概論・健康論Ⅰ・健康障害援助論 生活科学・老年看護学概論・小児看護学概論・成人看護学概論						
テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ 医学書院						
参考図書							
評価方法	筆記試験 (60%) およびレポート課題 (40%)						

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	地域・在宅健康維持論	1	30	2年次 ・ 1学期
担当講師	専任教員（保健師、健康福祉センター勤務経験あり） 非常勤講師（地域でケアマネジャーの経験あり、病院での看護経験あり、地域での社会福祉士経験あり）			
授業概要	地域・在宅で暮らす対象の健康を維持するために必要な看護を理解する			
授業目標	1. 地域・在宅における時期別の看護について理解できる。 2. 健康維持・増進に向けた支援の実際を理解できる。 3. 地域・在宅での暮らしを支える看護を実践するプロセス・アセスメントの視点が理解できる。			
回数	授業内容			担当者
第1回 ～2回	1. 地域・在宅における時期別の看護 1) 健康な時期の看護 2) 外来受診時における看護 3) 入院時の看護 4) 在宅療養準備期（退院前）の看護 5) 在宅療養移行期の看護			第1・2回
第3回 ～5回	2. 地域・在宅で暮らす対象への支援 1) 健康・要支援状態の高齢者への支援 (1) 介護保険制度 (2) 地域包括支援センターの役割 2) 要介護状態の高齢者への支援 (1) 在宅看護におけるケアマネジメント			第3～5回
第6・7回	3. 健康な時期の高齢者への支援 1) 地域の特性（人口構成、産業、文化、環境）の調査 金沢市の地域包括支援センター担当範囲 2) 健康教育（集団指導）の実際（演習）			第6・7回
第8回 ～14回	4. 地域・在宅看護における看護過程 1) 在宅療養のプロセスを踏まえたアセスメント 2) 家族を理解するための理論を踏まえたアセスメント			第8～14回
第15回	5. 認定試験・まとめ			
自己学習 関連科目	地域・在宅看護概論、地域・在宅看護対象論、基礎看護技術Ⅶを復習して臨む 関連科目：健康教育論			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論2 医学書院 最新保健学講座 別巻1 健康教育論 メヂカルフレンド社			
評価方法	筆記試験：35%（第1～2回：15%、第3～5回：20%） 筆記試験・レポート課題等 65%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	地域・在宅援助論 I	1	30	2 学年 ・ 2 学期
担当講師	専任教員 (保健師、健康福祉センター経験あり) 非常勤講師 (地域での訪問看護経験あり)			
授業概要	地域・在宅において多様な健康レベルにある対象とその家族の暮らしを支えるための看護技術を学ぶ。また、多様な場で安全に援助を行うために必要な技術を学ぶ。 在宅療養におけるリスクマネジメント・家族支援、緊急時の対応、生活の維持・向上に向けた援助、療養者・家族の価値観に基づく看護を学ぶ。			
授業目標	1. 在宅看護の特徴を理解し、観察の視点とアセスメントの方法を理解する。 2. 基礎看護技術をふまえ、日常生活を中心とした在宅における援助の基本について学ぶ。			
回数	授業内容	担当者		
第 1～4 回	1. 暮らしを支える看護技術 1) 暮らしの場で看護をするための心構え 意思決定支援、パートナーシップ 2) セルフケアを支える対話・コミュニケーション 3) 地域・在宅看護における家族を支える看護 4) 地域・在宅看護における安全を守る看護 5) 地域における暮らしを支える看護実践	第 1～4 回		
第 5～9 回	(1) 療養環境調整 (介護状況・感染予防・熱中症・事故防止 (転倒)・災害に対する準備と対応) (2) 活動・休息 (3) 食生活・嚥下 (胃ろう管理・HPN) (4) 排泄 (ストーマ管理含む) (5) 清潔・衣生活 (家庭の物品を使った援助・介護者の負担軽減を踏まえた支援) (6) 苦痛緩和・安楽確保 (7) 呼吸・循環 (HOT 管理) (8) 創傷管理 (9) 与薬 ※利用者・家族の力量・家庭環境を踏まえた指導の考え方を含む			
第 10～13 回	2. 在宅における看護活動としての訪問看護 1) 訪問看護の導入プロセス 2) 訪問看護の依頼から契約 3. 家庭環境にあわせた看護技術 (演習) 非常時の物品 (洗浄ボトル等) 浴槽の出入り 車椅子でのトイレ移乗 胃瘻洗浄、陰部洗浄、ポリ袋を使った足浴、ストーマの管理 (洗浄と交換)	第 10～14 回		
第 14 回	4. 訪問看護の一連の実際 (演習)			
第 15 回	5. 認定試験 (45 分)			
自己学習 関連科目	基礎看護技術を復習して臨むこと			
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論 1・2 医学書院			
参考図書				
評価方法	筆記試験：50% (第 1～4 回：25%、第 5～9 回：25%) 筆記試験及びレポート課題等：50% (第 6～14 回)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	地域・在宅援助論Ⅱ	1	30	2学年 ・ 2学期
担当講師	専任教員（保健師、健康福祉センター経験あり） 非常勤講師（在宅ケア認定看護師、慢性呼吸器疾患看護認定看護師）			
授業概要	地域・在宅で暮らす多様なライフサイクル・健康レベルに合わせた対象における看護過程の展開を行う。訪問時間内に必要な看護について優先順位や先を見通して組み立てる。在宅療養者や家族が安心して生活しやすくなる社会資源の知識を養い、相談・教育に役立てる。			
授業目標	1. 在宅における看護の特徴を踏まえて援助を考える。 2. 事例を通して、訪問看護師として望ましい対応について考える。 3. 社会資源に関する知識を深める。			
回数	授業内容	担当者		
第1～4回	1. 老年期にある在宅療養者の観察と看護 1) 高齢者の在宅療養生活の全体をアセスメントする 2) 脳梗塞を有する事例（エンドオブライフケア ACP HPN） 2. 成人期にある在宅療養者の観察と看護 1) 成人の在宅療養生活の全体をアセスメントする 2) 医療・保健・福祉制度を利用して在宅療養を組み立てる 3) 脊髄損傷を有する事例（膀胱瘻・バルンカテーテル管理・褥瘡）	第1 ～4回		
第5～8回	4) 神経難病の療養者の支援に必要な呼吸管理の知識 5) ALSで人工呼吸療法を実施する療養者の在宅看護の事例 3. 医療的ケア児の事例展開 人工呼吸器装着児の在宅移行の支援	第5 ～8回		
第9 ～14回	4. 地域・在宅看護過程の事例展開 1) 認知症から胃ろう造設・寝たきりとなった在宅療養者の看護 家族支援 多職種連携 2) 訪問看護の1日の動き（在宅実習室での演示）	第 9～14回		
第15回	認定試験			
自己学習 関連科目	地域・在宅看護概論・対象論・援助論Ⅰの内容を復習して臨む。 看護倫理、小児看護学、成人看護学、老年看護学の内容を復習して望む 関連科目：『専門基礎分野』の「保健医療福祉論」、『専門分野』の「小児看護学」「成人看護学」「老年援助論Ⅰ～Ⅱ」			
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論1・2 医学書院			
参考図書	みんないきいき介護保険（金沢市パンフレット）			
評価方法	筆記試験：80%（第1～4回：30%、第5～8回：30、第9～14回：20%） レポート課題：20%（第9～14回）			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	政策医療看護論	1	15	1年次 ・ 2学期
担当講師	専任教員 (国立病院機構セーフティネット系看護の経験あり) 非常勤講師 (国立病院機構医師) 非常勤講師 (国立病院機構セーフティネット系病院看護師)			
授業概要	国立病院機構では、国民一人ひとりの健康とわが国の医療の向上のために、全国の140の病院のネットワークを展開し、セーフティネットとして医療の充実を図っている。その中で療養の場が生活の場となっている対象を理解し、国立病院機構が担う医療・看護を学ぶ。また、国・地域における役割・連携を学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国立病院機構が担う政策医療の内容と行われている看護の特徴を学ぶ。 2. 対象 (重症心身障がい児 (者) ・神経難病患者 ・筋ジストロフィー患者 ・結核感染症患者) を理解し、日常生活の基本的な援助方法を理解する。 3. 対象の健康を支援するための制度や連携を理解する。 			
回数	授業内容			担当者
第1回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国立病院機構の役割と機能 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本の医療・看護の動向 2) 医療政策と国立病院・療養所が果たしてきた役割と動向 3) 政策医療 (特にセーフティネット) 医療と看護の意義 			第1回
第2回	<ol style="list-style-type: none"> 2. 療養の場が生活の場となっている対象の理解と看護の特徴 <ol style="list-style-type: none"> 1) 結核患者の治療・看護の特徴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 結核医療の変化 (2) 薬物療法の適応 (3) 感染経路と予防 (4) 結核患者への看護 入院中～在宅医療に向けての看護 他職種との連携、服薬指導、感染予防 			第2回
第3回	<ol style="list-style-type: none"> 2) 重症心身障がい児 (者) の治療・看護の特徴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 重症心身障がい児 (者) 医療の歴史の変遷と患者を取り巻く現状 (2) 重症心身障がい児 (者) の療育の特徴 (3) 家族への心理的アプローチ (4) 在宅医療に向けた援助 			第3回
第4回	<ol style="list-style-type: none"> (5) 重症心身障がい児 (者) の看護 <ol style="list-style-type: none"> ① 生活を支える日常生活支援 (食事、排泄、清潔、移動) ② ポジショニング、リラクゼーション ③ 肺理学療法 ④ QOL 向上のための支援 ⑤ コミュニケーション技術 ⑥ 安全対策 (感染予防・事故防止) ⑦ 在宅療養に向けたケアマネジメント (地域包括システムにおける病院の役割・多職種連携を含む) 			第4回
第5回 ～6回				第5・6回

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

<p>第7回</p>	<p>3) 神経・筋疾患患者の治療・看護の特徴</p> <p>(1) 神経・筋疾患医療の歴史的変遷と患者を取り巻く現状</p> <p>(2) 主な症状と看護の特徴</p> <p>(3) 在宅療養に向けた援助</p> <p>(4) 神経・筋疾患患者への看護技術</p> <p>① 日常生活援助（食事、排泄、清潔、移動）</p> <p>② QOL向上のための支援</p> <p>③ コミュニケーション技術</p> <p>④ 安全対策（感染予防・事故防止）</p> <p>⑤ 在宅療養に向けたケアマネジメント</p> <p>（地域包括システムにおける病院の役割・多職種連携を含む）</p>	<p>第7回</p>
<p>第8回</p>	<p>まとめ</p>	
<p>関連科目</p>	<p>看護学概論・基礎看護技術Ⅰ～Ⅳ・地域・在宅看護論を復習して臨む 地域・在宅対象論・看護学概論Ⅱ・症候各論Ⅳ</p>	
<p>テキスト</p>	<p>国民衛生の動向</p>	
<p>参考図書</p>	<p>「ぼくの青空」（東映教育ビデオ）</p> <p>「ラ・イ・フ・ヒ・ス・ト・リ・ー……ALS」看護教育シリーズDVD （医学映像教育センター）</p> <p>雑誌「月間 難病と在宅ケア」（日本プランニングセンター）</p>	
<p>評価方法</p>	<p>グループワーク・ワークシート・授業への取り組み：60%</p> <p>レポート課題：40%</p>	